

交通安全横断旗の贈呈

令和4年8月2日、こくみん共済coop 沖縄推進本部より、当連合会へ交通安全横断旗（3,504本）が贈呈されました。こくみん共済は、「未来ある子供たちを交通事故から守りたい」という思いから、歩行中の交通事故死傷者数が多い7歳児を中心に、2019年より「7才の交通安全プロジェクト」と称した交通事故防止活動に取り組んでおられます。贈呈式では、こくみん共済coop沖縄推進本部 大庭本部長が、活動趣旨を述べられ、安里会長は贈呈に対し感謝の言葉を述べました。贈呈された横断旗は県内各地域で活躍されている交通ボランティアの皆様に配付し、子供たちの安心・安全を見守る活動に活用いたします。



交通安全横断旗 贈呈式
こくみん共済coop沖縄推進本部・那覇地区交通安全協会

こくみん共済

交通安全協会連合会

金澤次長 大庭本部長 安里会長 宮城専務理事 伊波部長



贈呈された交通安全横断旗

交通死亡事故ゼロ1年達成

本部警察署と本部地区交通安全協会は、関係機関・団体と連携して、交通事故防止活動を行い、令和4年6月15日をもって、交通死亡事故ゼロ1年を達成し、7月11日に下地交通部長から仲間署長本部警察署長へ交通死亡事故ゼロ達成トロフィーが授与されました。

本部警察署の交通死亡事故ゼロ達成は、平成29年に続き14度目となります。



下地交通部長 比嘉安協長 仲間署長 多良間連合会副会長 上地警察官友の会会長



飲酒運転体験教室を開催

那覇警察署と那覇地区交通安全協会では、飲酒運転の危険性をドライバーに周知させるため、7月15日波之上自動車学校の協力の下飲酒運転体験教室を開催しました。企業の運転者や米軍関係者が参加し、実際に飲酒した後、自動車学校のコースを走行し、飲酒運転の危険性を実体験しました。

参加者からは、「何かおかしい。自分は大丈夫だと思っていたのに、ハンドル等をうまく制御できなかった」と、飲酒運転の危険性を肌で感じたとの感想がありました。

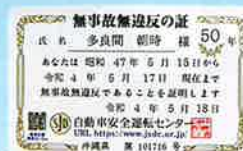


参加者の飲酒状況

アルコール検査

無事故無違反の証 (SDカード)

豊見城地区交通安全協会の多良間会長は、沖縄の本土復帰以来50年間無事故無違反の証である「SDカード」を取得しました。多良間会長のSDカードには50年と記載されています。なお、SDカードは沖縄県が復帰した昭和47年から始まったため、沖縄県での最長は50年となるということです。多良間会長によると、免許は18歳に取得したので、実際は50年以上無事故無違反とのこと。



多良間会長